

ウィキペディア

玉造温泉

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

玉造温泉（たまつくりおんせん）は、島根県松江市玉湯町玉造（旧出雲国）にある温泉。平安時代より三名泉（『枕草子』）とされ、規模、歴史ともに島根県随一、城崎温泉や皆生温泉、三朝温泉らと共に山陰を代表する温泉地である。

目次

泉質

温泉街

名所・主な施設

歴史

アクセス

周辺

関連項目

外部リンク

泉質

- 硫酸塩 - 塩化物泉
 - 源泉温度42度以上

温泉街

玉湯川沿いに桜並木と旅館などが立ち並び、松江城、出雲大社などの観光地にも近く、観光拠点として重宝されるが、基本的に料金設定は高く、数寄屋造りの高級和風旅館が多い。歓楽色は一切なく、歴史を重んじた落ち着いた風格を見せる。その他、日帰り温浴複合施設「玉造温泉ゆ〜ゆ」、出雲玉作史跡公園、玉湯川の畔に足湯がある。

温泉街入口近くの上方を山陰自動車道が通過している。

名所・主な施設

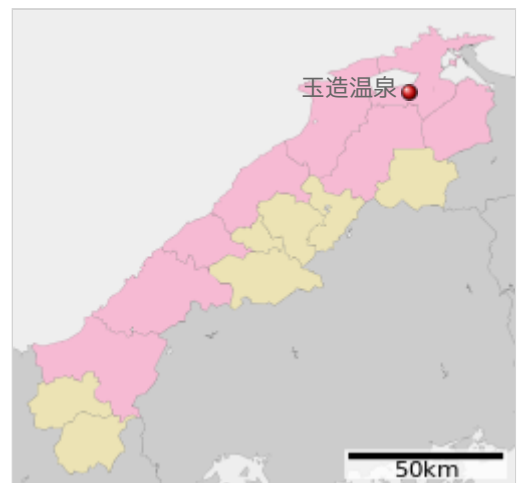
- 勾玉橋
- 玉造温泉ゆ〜ゆ - 日帰り温浴施設、会議室およびコンベンションホールも併設した複合施設である。当施設前では、朝市も行われる。

玉造温泉



温泉情報

所在地	島根県松江市玉湯町玉造
座標	北緯35度24分58秒 東経133度0分37秒
交通	鉄道：JR山陰本線玉造温泉駅下車
泉質	塩化物泉
泉温（摂氏）	42℃
外部リンク	玉造温泉旅館協同組合 (http://tamaya.do.com/)



玉造温泉の位置

- [出雲玉作史跡公園](#)
- [出雲玉作資料館](#)
- 姫神広場
- 松江藩主別荘御茶屋（遺構表示施設）



温泉街



勾玉橋



玉湯川畔の足湯



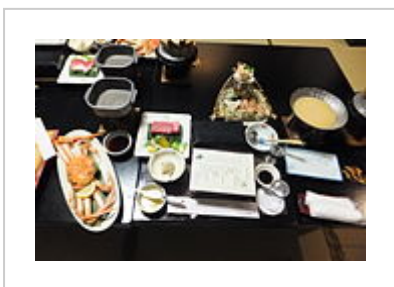
玉湯温泉 ゆ〜ゆ



[出雲玉作史跡公園](#)



数奇屋造の旅館（界出雲）



玉造温泉で出されるカニ料理

歴史

奈良時代開湯といわれる古湯で、[少彦名命](#)が発見したと伝えられている。『[出雲国風土記](#)』抄にも記載があり、神の湯として知られた。また江戸時代には松江藩藩主の静養の地となっており、湯之介と呼ばれる温泉を管理する役職も設けられていた。玉造という名の由来は、この地にある[花仙山](#)で良質の青瑪瑙が採掘できたために、この地の人々が玉造を生業としていたことに由来していると考えられる。三種の神器の一つ、[八咫瓊勾玉](#)（やさかにのまがたま）も[櫛明玉命](#)（くしあかるだまのみこと）によってこの地で造られたと言われている。[玉作湯神社](#)にはその櫛明玉命を祀っており、多数の[勾玉](#)や[管玉](#)が社宝として保管されている。

アクセス

- 鉄道：JR山陰本線玉造温泉駅下車（下車後、タクシーか旅館の送迎バスを利用）
- JR松江駅から一畑バス玉造温泉行に乗車（[乃木駅](#)・玉造温泉駅〔駅の坂下にある、玉造温泉駅入口バス停〕も経由する）
- [山陰自動車道松江玉造インターチェンジ](#)から[国道9号](#)経由

- [出雲空港から出雲一畑交通・空港リムジンバス](#)
- [足立美術館](#) - 無料送迎バス便あり
- [広島駅新幹線口から中国ジェイアールバス](#)が高速バス玉造温泉号を週末のみ運行

周辺

- [玉作湯神社](#)

関連項目

- [島根県の観光地](#)

外部リンク

- [玉造温泉旅館協同組合](http://tamayado.com/)（2015年2月5日閲覧）(<http://tamayado.com/>)
- [玉造温泉 足湯](http://furusato.sanin.jp/p/area/matsue/117/)（2015年2月5日閲覧）(<http://furusato.sanin.jp/p/area/matsue/117/>)

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=玉造温泉&oldid=71700803>」から取得

最終更新 2019年2月18日 (月) 00:34 （日時は[個人設定](#)で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ [表示-継承ライセンス](#)の下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は[利用規約](#)を参照してください。